総合研究大学院大学 先端学術院 5年一貫制博士課程
素粒子原子核コース・加速器科学コース（2026年10月・2027年度4月入学）
入学試験における出題ミスについて

総合研究大学院大学

このたび、2026年8月19日から8月20日にかけて実施した本学先端学術院5年一貫制博士課程 素粒子原子核コースおよび加速器科学コース（ともに2026年10月入学・2027年度4月入学）入学試験における筆記試験専門科目の問題の一部に出題ミスがあることが判明いたしました。

出題ミスの内容、発見の経緯及び本学の対応は次のとおりです。

なお、入学試験の合否判定においては、この措置によって不利益を被る受験者は生じていないと判断しました。

入学者選抜については、細心の注意を払って実施すべきところ、このような事態を引き起こし、受験生の皆様をはじめ関係者の方々に多大なご迷惑、ご心配をお掛けしましたことを、心よりお詫び申し上げます。今後このようなことが発生しないよう、チェック体制の強化、再発防止に一層厳正に取り組んでまいります。

1. 入学試験の概要

書類選考、筆記試験（数学および専門科目）、TOEFL または TOEIC のスコア、面接審査を総合的に判断し合否判定を行います。

○ 試験実施日
2026年8月19日：筆記試験
2026年8月20日：面接試験

○ 合格発表日
2026年9月9日

○ 受験者数
素粒子原子核コース・加速器科学コース（ともに5年一貫制博士課程） 合計26名

2. 出題ミスの内容

専門科目第6問【問2】(c)において下記の表記ミスがありました。

（誤）「窒素分子から 1 個の窒素原子から 1 個の電子が電離するものとする.」
（正）「窒素分子から 1 個の電子が電離するものとする」

3. 出題ミスの発見の経緯

入試問題を公開する際の確認時に、当該問題の作題者が該当するミスを発見しました。

4. 出題ミスへの対応

記載ミスがあった第6問を選択した受験者2名について、当該設問を正答として加点した場合の影響を検証した結果、順位及び合否に変更はなく、追加合格者も発生しないことを確認しました。

このため、当該記載ミスは入学者選抜の結果に実質的な影響を及ぼしていないと判断し、得点調整は行わないこととしました。

5. 出題ミスが発生した原因

試験問題については、これまで作題担当者間の相互確認及び作題担当者以外の入試委員会委員による確認を実施しておりました。

しかしながら、入試委員会での確認後に修正が生じた場合の再確認手順が明確でなかったことが今回のミスの要因であったと考えられます。

6. 再発防止対策等

今後は入試委員会での確認後に修正が生じた場合であっても、修正版について改めて作題担当者以外の委員による確認を行った上で最終版を確定する運用とし、チェック体制を見直します。また、最終版については確認者及び確認日を記録し、確認手順の確実な実施を徹底いたします。